

□議員名：長谷川知司

1 避難所、避難場所について

論点	避難所の開設担当職員は、遠くから来ているが近くから選任できないのか。また、避難所の備品はどのような準備をしているのか。避難場所には災害の種類では適さない箇所があるが、高齢者には場所ごとに選ぶことは、理解しにくいのではないのか。
回答	地震や夜間の避難所開設には、近くの職員を配置したい。また、地域の防災士や RMO 役員の協力も検討したい。 空調設備のない避難所は空調対応可能なように、今後学校と協議したい。 避難所は、災害状況を市民に広く情報提供して、市民が困らないように努めたい。

2 非正規職員の待遇について

論点	優秀な職員確保のための条件は何か。 特殊な資格又は専門的な資格を有する職員の待遇を聞く。
回答	他市や民間の処遇を考慮して、適宜見直しを行っていきたい。 一般の事務職と異なる専門的な職員については、給与決定時にその資格等を反映させた給与体系としている。

3 遊休地、余剰地の活用について

論点	長年未利用地な土地の早期活用方法を聞く。 市営住宅（萩原、叶松、平原）の今後余剰地となる土地活用を聞く。 旧津布田小学校用地の活用を聞く。
回答	不要な土地は売却方針で、昨年度は7件、4,380万円の実績。 市営住宅の余剰地活用は、いま時点では考えていない。今後、市の公共施設跡地活用指針に従って検討する。 旧津布田小学校用地は、今後地元の意向を尊重して、利活用を進めたい

4 市独自では、解決困難な事業について

論点	JR 美祢線、小野田線の存続 重要港湾小野田港の浚渫事業 理科大学北東側にある宇部市道の拡幅
回答	国の責任ある対応が基本と考え、持続可能な地域公共交通ネットワークの効果的な制度設計や財政支援の充実等を国に要求していく。 重要港湾小野田港の浚渫事業については、市長自ら知事に要望していて、県は令和5年度の政府要望に盛り込んでいる。 宇部市道については、再三拡幅をお願いしているが、宇部市に拡幅計画はないとの回答であった。